

富山経協



サンシュユの実 (解説・20ページ)

CONTENTS

- 2 東部地区会員懇談会 (報告)
- 3 会長・副会長会議
会員の動き、おしらせ
- 4 TOP INTERVIEW
新光硝子工業 新海伸治社長
- 6 調査報告
人口減少が進む中での企業対応に関する調査
- 8 Keikyo行事レポート
- 10 参加者NOTES
- 19 景況指標
- 20 事業予定

会長・副会長会議

11月7日(金)、ホテルグランミラージュにおいて、稲垣会長はじめ6名が出席し、会長・副会長会議を開催した。

①「新春互礼会」は来年1月5日(月)、ANAクラウンプラザホテルで行う。今回より富山経済同友会が参加となり、当協会、富山

県商工会議所連合会、富山県商工会連合会、富山県中小企業団体中央会の県内経済5団体での開催となる。②2015年のスケジュールは、3月3日(火)11:30よりANAクラウンプラザホテルで連合富山との役員懇談会、16:00より富山電気ビルで幹事会を開催する。長野県経営者協会との懇談会は新幹線での来県を前提に3月17日(火)富山県内で開催する。また、新年度第1回目の理事



会は予算関連の審議を中心に4月22日(水)開催。第70回定時総会は5月25日(月)開催することを確認した。

会員の動き

(50音順) (敬称略)

■ 代表者の変更

鹿島建設株式会社 富山営業所

富山営業所長 中村 昭彦 (前:山崎信吾)

第一共同印刷株式会社

代表取締役 高塚 保行 (前:木谷國紀)

株式会社ホライズン・ホテルズ富山ホテル事業所

(ANAクラウンプラザホテル富山)

支配人 勝島 基江 (前:久米 剛)

秋の褒章

おめでとうございます

黄綬褒章

富山信用金庫 理事長

山地 清 氏

藍綬褒章

北陸酒販株式会社 代表取締役社長

富山県卸売酒販組合 元理事長

酒井 道行 氏

お知らせ

新春互礼会

日時: 2015年1月5日(月) 16:00~

場所: ANAクラウンプラザホテル富山 3階 鳳

(富山市大手町2-3 TEL.076-495-1111)

(ご案内済)

- ・(一社) 富山県経営者協会
- ・富山県商工会議所連合会
- ・富山県中小企業団体中央会
- ・富山県商工会連合会
- ・富山経済同友会

東 部 地 区 会 員 懇 談 会



稲垣会長による乾杯



米屋副会長の挨拶



寺林副知事から祝辞



佐々副会長中締め

11月7日(金)、ホテルグランミラージュにおいて、会員企業から107名が参加して東部地区会員懇談会を開催した。

第一部では、当協会会員企業のFM富山で毎週金曜日「虹をかけよう」の番組担当、北日本放送「いっちゃん☆KNB」や北陸銀行のCMソングなどを歌い、北陸を中心にワンマンライブを行うなど活躍の幅を広げている、シンガーソングライターのTomomiさんによるコンサートを行った。「L.O.V.E」「涙の数だけ」「時代」などアンコールを入れ、9曲に参加者一同聞き惚れ、心温まるひと時を過ごした。

第二部の懇親会では、はじめに東部地区担当米屋副会長が「来年3月には長年待ち望んだ北陸新幹線が開業する。これをどのように富山県の発展につなげていくかは、我々県民の肩にかかっている。黒部宇奈月温泉駅にも一人でも多くの人に降りてもらい、その良さを知ってもらいたい。東部地区がますます発展できるようみんなで切磋琢磨していかなければ

ならない」と挨拶した。

寺林県副知事の挨拶に続き、稲垣会長が「新幹線開業にともない、これまでの産業構造、場合によっては社会構造が大きく変化する可能性を秘めている。時間の短縮によるグローバル化の進行もその一つと考える。その中で、県内企業は変化をいち早くとらえ、チャンスに変えていくことが大事。また、変化のスピードもこれまで以上に早くなってくる。幸いにして、県内経済は、思ったほど悪くはない。この状況を維持しより好転させていくためには、会員企業皆さんの成長、発展によるところが大きい。会員企業の力を結集し、富山県をより元気にしていきたい」として力強く乾杯を行い、懇親会に入った。

中締めでは、佐々副会長が「企業発展の源はすべて経営者の姿勢にかかっている。暗く下ばかり向いていればおのずと結果は知れている。しっかり前を見据え、経営者自らが一致団結して元気になることが大事」とし、「ヤルゾー」を全員で大合唱して散会した。



コンサート



Tomomi



中締め

バブル崩壊後、建築では高価な曲げガラスを使うことが減りました。そこで合わせガラスに着目し、「スリーエス合わせガラス」を開発しました。通常の合わせガラスは2枚のガラスの間に特殊フィルムを挟んで熱を加えて接着しますが、このガラスは間に液体樹脂を流し込み、常温で接着します。熱を加えないので、ガラスの間に色々な異材を入れて接着することができます。

この方法によって、ポリカーボネート樹脂との合わせガラスを作ることになりました。高い強度のポリカーボネートとキズや紫外線劣化がしにくいガラスの長所を組み合わせたガラスは、工作機械ののぞき窓や建設機械の天井など新しい分野にも使われています。

一個々の仕事が技術の蓄積— 技術の蓄積や伝承はどのように されていますか。

三愛ビルの網入りガラスを曲げたように、「出来ない」と言わないのが当社の社風です。建築や鉄道車両は常に新しいデザイン、素材が求められ、可能かどうか分からないこともあります。「まずは試作から」と受けるようにしています。最近では大理石との接着に成功しました。一つひとつの仕事が新しい技術の蓄積となっています。

技術の伝承に関しては、職人の手によるところが大きく、工場で

のOJT、一緒に仕事をする中で覚えるしかありません。

特殊な商材ですが、営業はどのよ うにされていますか。

曲げガラスは定期的に出てくる仕事ではありません。ルート営業を徹底して、「曲がったガラスが出たら、顔を思い出してもらるように」といつも言っています。見積もり依頼が来る大きな案件を追いかけるだけでなく、小さなものでも新光硝子を思い出してもらえるよう、取引先との人間関係を築いておくことが大切です。

社長に就任してから心がけている ことはありますか。

私が社長になって打ち出した方針が「異業種の開拓」です。これまでのお客さんはほとんどがガラス会社さんでした。ここ2~3年で電機メーカー、建設機械メーカー、工作機械メーカーなど異業種のお客さんが増えてきました。

新しい分野を開拓するため、月1回開いている開発会議には若手、部長クラス、経営陣と必要と思われる人は制限無く呼んで、色々な業種の状況を聞いたり、新市場の報告をしたりして、進出のきっかけを話し合っています。

3年前からは成長著しいコンビニに目を付け、唐揚げなどのショーケースを商品化しました。薄利ですが、安定的な注文があります。

最近レジカウンターによく置いて ありますね。

当初からいきなり2,500枚の注文が入りました。もともと曲げガラスは職人の技に頼るところが多く、量産向きではないため、工場は混乱しました。しかし、生産現場出身の吉谷会長が中に入って工程の見直しや効率化を図り、仕事を回せるようになりました。

職人的な世界で、機械による効率化などはあまり求められませんが、それでも色々な部分で生産性を向上できると感じています。

座右の銘を教えてください。

「和衷協同」、心を同じくして、共に力を合わせ、仕事、作業にあたる。社長業は当然ですが、時間があれば工場に入っていますし、必要であれば全国どこでも営業に同行します。社員の家族も含め、新光ファミリーとして心ある会社になりたいと思っています。

また社会の一員として、工場見学などもできるだけ受け入れて、地域貢献していきたいと思っています。

会社概要

新光硝子工業株式会社

創業：1953(昭和28)年

所在地：砺波市太田1889-1

資本金：5,000万円

事業内容：曲げガラス、複層ガラス、合わせガラス、エッチングガラス、強化ガラス等の製造・販売

従業員数：75名(2014年11月現在)

売上高：10億3,900万円(2014年3月期)

事業所：東京支店、大阪営業所、名古屋出張所

URL：<http://www.shinkoglass.co.jp/>

金沢21世紀美術館



北陸新幹線W7系前(新高岡駅で8月)

略歴

1961(昭和36)年2月生まれ。神奈川県横浜市出身。鶴見工業高校卒。横浜市内のガラス会社勤務を経て、1990年9月新光硝子工業(株)入社、東京支店で営業部長兼東京支店長などを経て、2008年取締役、2011年常務、2012年6月から代表取締役社長。

異業種開拓で新販路 「できない」とは言わない

新光硝子工業株式会社
代表取締役社長

新海 伸治 氏



北陸新幹線のフロントガラス加工で脚光を浴びておられます。主な事業内容を教えて下さい。

曲げガラス、合わせガラス、エッチングガラスなどガラスの二次加工を行っています。産業、建築、鉄道車両の3部門に分けており、産業部門では百貨店やコンビニエンスストアなどの食料品ショーケースのガラスを作っています。

建築部門では金沢21世紀美術館のような曲面の外装を手掛けてお

り、9m近いガラスを曲げることもあります。また、ガラス製のテーブルやパーティションなどインテリアも作っています。

鉄道車両部門では、新幹線や特急列車のガラスを手掛けてきました。北陸新幹線の新型車両フロントガラスを多方面で紹介頂き、新幹線の新光硝子のように思われていますが、鉄道車両の売上比率は全体の約8%。あとは産業部門、建築部門がほぼ半々です。

—ダイヤモンドが田舎にいた—

1953年に高岡市伏木で創業されました。

近所のガラス工場でアルバイトをしていた現相談役の上杉貞雄ほか複数で創業しました。寿司屋のネタケースを手始めに、洋菓子店や肉屋のショーケースなどを作りましたが、経営は楽ではなかったようです。

大きな転機になったのが、1962年に手掛けた銀座・三愛ビルのガラスです。このビルは設計後に消防法が改正され、網入りガラスを使わなくてはならなくなりました。600度の熱を加えて曲げるため、中の金属が伸びてガラスが割れるため、網入りは曲げられないというのが常識でした。

上杉は高価な大きなガラスを何十枚も割りながら、温度管理や曲げ方を研究し、世界で初めて網入りガラスの曲げに成功しました。建設会社から「ダイヤモンドが田舎にいた」と評価され、建築分野進出への大きな一歩となりました。

現在は曲げガラスのトップメーカーに成長しています。

従来、ガラス工事事業が寸法を持ってきて、できたガラスを取りに来るのが普通でした。地方からの後発である当社は、営業担当者が現場で寸法を測って型を取り、現場へ納品に行く手法を取りました。この営業スタイルは重宝がられ、確かな技術との相乗効果で信頼を獲得できたと思っています。

高度経済成長期、バブル景気の建設ラッシュで、全国各地の建築物に納めてきました。近年はカタルのイスラム美術館など海外にも進出しています。

1994年からは合わせガラスの分野にも進出されています。

対応に関する調査

(人口減少が経営に与える影響、労働力人口減少対応、女性の活躍に関する調査)

当協会では、人口減少が進む中での会員企業の対応状況や課題について調査し、その内容を情報提供するためアンケート調査を実施した。160社から回答を得た。

(調査日：2014年10月16日～11月10日)

問4(1). 現状を確認させてください。

県が実施した「平成25年度企業の女性活躍推進度調査」の県内事業所の回答によると、女性の管理職登用率(役員を含む)は8.0%、役員を除いた登用率は7.3%となっています。

(*管理職=課長相当職+部長相当職+役員) 現在、貴社では女性の管理職がいますか。

企業規模 1~99人で44.4%、100~299人では45.7%、300人以上では63.4%と企業規模が大きくなるほど、女性管理職の在籍率は高くなっている。

1~99人	いる 44.4%	いない 55.6%
100~299人	いる 45.7%	いない 54.3%
300人~	いる 63.4%	いない 36.6%

問4(2). (1)で「いる」と回答された企業にお伺いします。

現在、貴社において女性管理職・女性役員の人数と貴社の管理職・役員の人数を教えてください。

1~99人では管理職の女性割合は10.9%、役員は16.1%、100~299人では6.8%と3.2%、300人以上では同じく2.6%、0.3%と、規模が大きくなるほど管理職・役員比率は低くなっている。

	女性管理職	女性役員
1~99人	10.9% (42人/385人)	16.1% (22人/137人)
100~299人	6.8% (46人/672人)	3.2% (4人/126人)
300人~	2.6%(132人/5139人)	0.3% (1人/326人)

問4(3). (1)で「いない」と回答された企業にお伺いします。

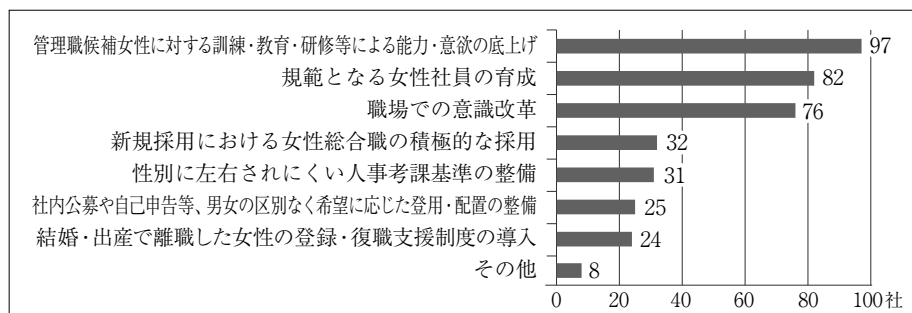
今後貴社では女性管理職の登用の予定はありますか。

1~99人では、52.4%、100~299人では53.8%と半数を超えるが、300人以上では50.0%と規模に関わらず半数の企業が登用を予定している。

1~99人	ある 52.4%	ない 47.6%
100~299人	ある 53.8%	ない 46.2%
300人~	ある 50.0%	ない 50.0%

問5. 女性管理職の比率を上げるためにはどのような取り組みが必要ですか。(複数回答可)

「管理職候補女性に対する訓練・教育・研修等による能力・意欲の底上げ」が97社、「規範となる女性社員の育成」が82社、「職場での意識改革」が76社と、「新規採用における女性総合職の積極的な採用」が32社、「性別に左右されにくい人事考課基準の整備」が31社、「社内公募や自己申告等、男女の区別なく希望に応じた登用・配置の整備」が25社、「結婚・出産で離職した女性の登録・復職支援制度の導入」が24社、「その他」が8社と、



まとめ

富山県が12月1日発表した「人口移動調査」によると、39年ぶりに県内人口が107万人を割ったとの報道があった。平成25年10月1日現在の年齢別人口分布では、10代以下(0~9歳)が85,376人、10代(10~19歳)が100,763人、20代(20~29歳)が88,556人、に比べ、60代(60~69歳)は169,963人。その内60~64歳が86,311人と実に10代以下、あるいは20代に匹敵する人口構成となっている。このことを考えると、60代がすべて職を離れると労働人口にも大きな影響がでてくる。また県内女性15歳以上人口に占める女性就業者の割合は51.5%、全国第4位の高率であるが、まだ半数が将来の労働人口の支えとなるともいえる。

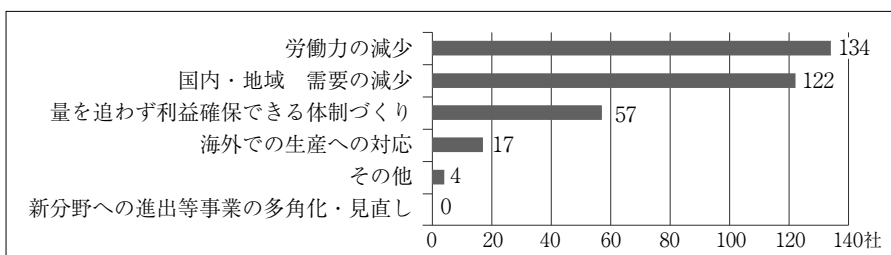
今回の調査でも、企業活動の維持発展のためには、ほとんどの企業が、高齢者活用、女性の活躍は欠かせないとしている。この現実をしっかりと認識し、今後この2つの命題に行政、企業は真摯に取り組んでいかなければならない。

経営課題調査「人口減少が進む中での企業」

急激な少子高齢化と人口減少に直面している我が国は、労働力人口の大幅な減少が今後予想され、「女性の活躍」が今後ますます必要になると思われる。また、政府は指導的地位に占める女性の割合を2020年までに30%程度となる目標を定めて女性の活躍促進を喫緊の課題としている。

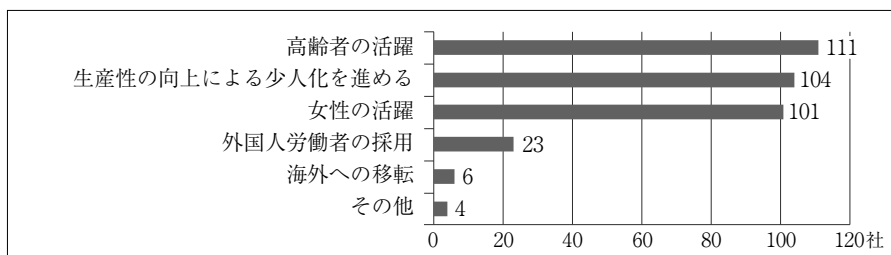
問1. 政府の推計では日本の人口は2048年には1億人を割り込む予想となっています。この急激な人口減少は貴社の企業経営にどのような影響がありますか。(複数回答可)

「労働力の減少」が134社(83.7%)、「国内・地域、需要の減少」が122社(76.2%)について、「量を追わず利益確保できる体制づくり」が57社となり、「海外での生産への対応」は17社にとどまった。



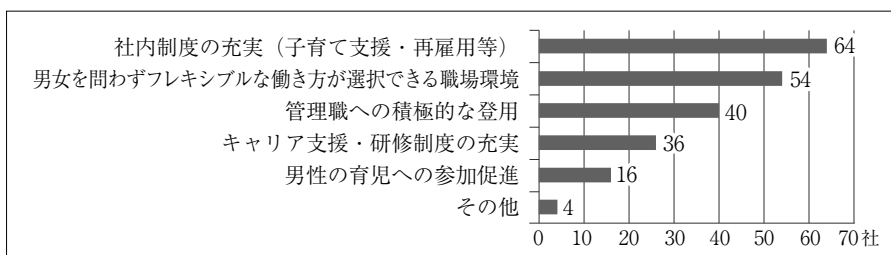
問2(1). 労働力人口の減少について貴社の対応をお聞かせ下さい。(複数回答可)

「高齢者の活躍」が111社、「生産性の向上による少人化を進める」が104社、「女性の活躍」が101社と多く、一方「外国人労働者の採用」は23社と消極的であった。



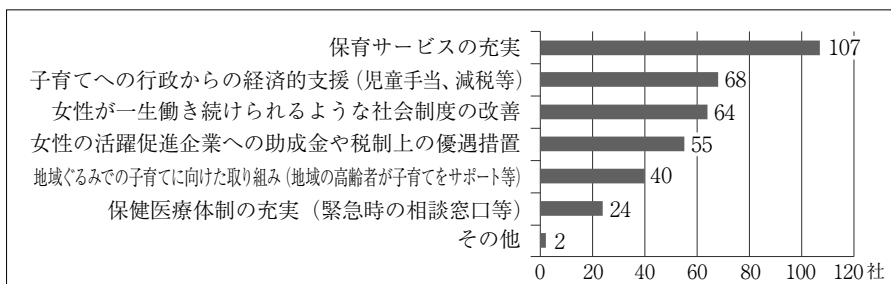
問2(2). (1)で「女性の活躍」と回答された企業にお伺いします。(複数回答可) 貴社として、女性の働きやすい環境づくりで何をしなければいけないとお考えですか。

「社内制度の充実」が64社、「男女を問わずフレキシブルな働き方が選択できる職場環境」が54社、「女性の管理職への積極的な登用」が40社、「キャリア支援・研修制度の充実」が36社と、企業あげての複合的な環境づくりを進めていこうとしている。



問3. 女性の働きやすい環境づくりや女性の活躍のために行政に望むことはなんですか。(複数選択可)

「保育サービスの充実」が107社と多く、子育ての直接支援要請が高い。「子育てへの行政からの経済的支援」が68社、「女性が一生働き続けられるような社会制度の改善」が64社など、企業単独ではできない支援に対する行政への期待は大きい。



総務交流委員会

■定例委員会

12月8日(月)、武内委員長はじめ委員17名が出席して富山電気ビルにおいて開催し、2014年度事業実地状況報告と2015年度事業計画(案)について審議を行った。



事務局より、2014年度事業実績は、①定期調査の回答企業数が前年を上回った。②会員交流事業は参加者数が前年を上回った。③企業理念見学会は経営企画委員会との共催により2月に阪神化成工業(株)の見学を実施予定。④婚活イベントは、春と秋に2回実施したこと等が報告された。

2015年度は、①定期調査・経営課題調査、②会員交流事業、③婚活イベントを継続実施する。

審議の中での指示事項として、各種調査の実施にあたっては回答率の向上を図ること。婚活イベントの活性化を図ること。また、企業見学会は総務交流委員会の特色を出すこと等が要望された。2015年度の事業計画は、指示事項を踏まえることとして承認された。

■第2回婚活イベント

10月25日(土)、婚活イベント第2回目となる「オータムナイトパーティ」を会員企業の社員限定・男女各20名が参加して、富山電気ビルにて開催した。

参加者は秋の夜長に美味しい料理とゲームを楽しみながら、素敵

な相手を見つけようと積極的にアプローチしていた。

■会員交流ボウリング大会

11月19日(水)、富山地铁ゴールデンボウルにおいて開催した。平日の夕刻時間にもかかわらず、32チーム128名と過去最高の参加者を迎えることができた。

(株)アイベックの吉岡社長による始球式の後、一斉に競技が開始され、各チーム和気あいあいとした雰囲気の中で、熱戦が繰り広げられた。ストライクやスペアの際の歓声がホールに響き渡り、隣のレーンのチームとの交流も深め合っていた。

ゲームは1チーム4人の2ゲーム合計スコアで競われたが、女性と男女問わず65歳以上には1ゲーム20ピンのハンデを適用した。

主な成績は下記の通り。団体の部は北陸電気工業(株)チームと武内プレス工業(株)が同合計スコア1,220だったが、全員女性の北陸電気工業(株)チームが優勝を手にした。なお、昨年に引き続き個人表彰も行った。



<上位成績>

(団体の部)	会社名	合計スコア
優勝	北陸電気工業(株)	1,220
準優勝	武内プレス工業(株)	1,220
3位	アイシン軽金属(株)	1,094
(個人の部)	氏名	合計スコア
優勝	名畑孝昭(武内プレス工業)	368
準優勝	保田利博(アイシン軽金属)	338
3位	守田成子(北陸電気工業)	335

人事・労務政策委員会

■幹事会

11月28日(金)、綿貫委員長はじめ副委員長・幹事6名が出席し、富山経協・研修室Aで開催した。

2014年度経過報告、今後の事業予定として、2月定例委員会で日本女子大学の額田講師による「富山県企業における多様な人材活用のマネジメント」と題した講演と、インターンシップアンケートの報告を行う。2015年度事業計画(案)として、教育機関(大学等)との定期的な交流の実施、マイナンバ



ー制度の研修会、アサーションなどのコミュニケーション関連の講座実施、「薬物対策」についての講習会実施などを12月定例委員会に諮ることとした。

2014年 10月7日～12月8日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
会 議	婚活イベント「オータムナイトパーティー」	総務交流	10月25日(土)	富山電気ビル	40名
	環境委員会「定例委員会」	環 境	10月28日(火)	三協立山株式会社	18名
	会長・副会長会議		11月 7日(金)	ホテルグランミラージュ	6名
	東部地区会員懇談会		11月 7日(金)	ホテルグランミラージュ	107名
	教育委員会「定例委員会」	教 育	11月14日(金)	富山経協・研修室A	16名
	労働法関連法制研究部会	人事・労務政策	11月19日(水)	富山経協・研修室B	10名
	会員交流ボウリング大会	総務交流	11月19日(水)	富山地鉄ゴールデンボウル	128名
	人事・労務政策委員会「幹事会」	人事・労務政策	11月28日(金)	富山経協・研修室A	7名
	経営企画委員会「定例委員会」	経営企画	12月 4日(木)	富山経協・研修室B	7名
	総務交流委員会「定例委員会」	総務交流	12月 8日(月)	富山電気ビル	17名
	人事・労務政策委員会「定例委員会」	人事・労務政策	12月 8日(月)	富山電気ビル	18名
	教育委員会「定例委員会」	教 育	12月 8日(月)	富山経協・研修室A	12名
講演・ 見学会	県外企業見学会	品質管理	10月20～21日(月～火)	オークマ株式会社 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社 トヨタテクニウム産業技術記念館	16名
	環境保全活動	環 境	11月 2日(日)	とやま・ふくおか家族旅行村	15名
	県外企業見学会	環 境	11月25日(火)	アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社	17名
講 座 ・ セ ミ ナ ー	第1回係長・主任実践コース	教 育	10月7・8日(火・水)	富山県市町村会館	55名
	若手社員活性化コース	教 育	10月 9日(木)	富山商工会議所ビル	46名
	ヒューマンエラー対策講座<応用編>	品質管理	10月10日(金)	富山県農業総合研修所	43名
	管理職マネジメント研修	教 育	10月15日(水) 11月11日(火) 12月11日(木)	富山県農業総合研修所	21名
	実践しながら学ぶ統計的手法活用講座	品質管理	10月17日(金) 11月 7・21日(金) 12月 5日(金)	富山経協・研修室A	30名
	事務・間接部門の効果的業務改善の進め方セミナー	教 育	10月23日(木)	富山商工会議所ビル	38名
	コスト改善力実践セミナー	教 育	11月 5日(水)	富山経協・研修室A	27名
	ISO9001内部監査員養成講座	品質管理	11月6・7日(木・金)	富山県市町村会館	38名
	管理職基礎コース	教 育	11月7～8日(金～土)	インテック大山研修センター	31名
	第3回労働法実務講座	人事・労務政策	11月19日(水)	富山商工会議所ビル	32名
	経理・財務の基礎セミナー	教 育	11月26日(水)	富山商工会議所ビル	33名
	ものづくり品質管理セミナー	品質管理	11月26日(水)	パレプラン高志会館	86名
「5S+目で見える管理」活動実践セミナー	教 育	12月 2日(火)	富山商工会議所ビル	39名	

■若手社員活性化コース

10月9日(木)、46名が参加して、富山商工会議所ビルで開催した。

講師の石川歩(公財)日本生産性本部風土改革コンサルタントは、企業を取り巻く環境は日々変化しており、仕事の質を向上し続けなければお客様から選び続けてもら



えなくなるとした上で、自身の仕事や職場における課題について検討した。また、組織内のコミュニケーションの重要性や、チームの力を発揮する際のポイントを体感するため、グループ対抗の演習を行い、様々な気づきを得た。さら

に、目標を持って仕事をするものの必要性や周囲を巻き込んで変革を進める重要性について解説し、対人演習を通じて上司・先輩との関わり方について学んだ。

(「参加者NOTES」12頁掲載)

■「事務・間接(スタッフ)部門の効果的な業務改善の進め方」セミナー

10月23日(木)、38名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

講師の渡辺季幸(一社)中部産業連盟主任コンサルタントは、事務・間接(スタッフ)部門の業務改善を進めるためには製造現場との違いを知り、仕事の量とスピードをコントロールすることがポイントであるとした上で、ものづくりの改善手法を応用することで事務・間接業務の効率化・仕事の質の向上を実現するため、業務プロセス改善の着眼点や適用しやすい改善



手法、タイムマネジメント、VMの基本的な考え方について具体的な事例を交えて解説した。さらに、グループ演習で改善の効果的な進め方を検討し、参加者間の活発な意見交換を通して理解を深めた。

■コスト改善力実践コース

11月5日(水)、27名が参加して富山経協・研修室Aで開催した。

講師の小川正樹(株)MEマネジメントサービス代表取締役は、グローバルな競争力を高めていくには戦略的な原価革新活動が必要不可欠であるとした上で、原価計算の



参加者NOTES

教育委員会

「係長・主任実践コース」を受講して

北銀ソフトウェア株式会社
開発部 サブチーム長 近江 和彦



本講義では、企業環境の変化を踏まえた今後の企業の在り方と、係長・主任の役割および部下の育成方法について学んだ。講師の先生が経験されてきた様々な事例を交えた説明やグループ討議でのケース研究もあり、2日間とても分かりやすく楽しく受講することができた。

まず、印象に残ったのは、これからの企業は、「経済学」ではなく「経営学」を中心に考えるべきということである。要するに、コストや利益ばかりを求めるのでは

なく、常に顧客満足を意識した品質を求めるために、市場のマーケティング(分析)を怠らず、自らもイノベーション(変革)しなければならないということである。

グループ討議では、幾つかの「係長と部下との関係」に関する課題設定に対し、部下への指導・育成方法の問題点、改善点はどこにあったのかを討議、発表した。部下の指導育成のポイントは、部下の現状(能力・適性・性格・価値観)を正確に把握することから始まり、明確な目標と方向性を持

った上で、計画的に進め、部下の志望や考えも尊重しながら、本人自身に考えさせ、教えるよりも学ばせることが大切ということである。また、組織や職場が目的を達成するためには、目的の共有・職場の一体感、および日頃からのコミュニケーションが必要であり、その際のポイントとして、評価的批判的な態度をとらず、相手の意見の意味全体を聴き、指示等の理解度をフィードバック(復習・確認)することが大切である。

最後に、このような貴重な経験を得られたことに感謝し、今回の講習で身に付けた知識や手法を積極的に活かし、今後の業務に繋げていきたいと思っております。講師の佐藤先生ならびに主催者の皆様ありがとうございました。

■定例委員会

12月8日(月)、綿貫委員長はじめ18名が出席して、富山電気ビル4階で開催した。



2014年度事業活動について報告、今後の予定として、2月定例委員会は、日本女子大額田講師による「富山県企業における多様な人材活用マネジメント」講演を2月16日に開催する。労使交渉セミナーは1月29日に、労働法実務講座は2月25日に開催する。

2015年度事業計画(案)については、マイナンバー制度研修会、部下とのコミュニケーションを題材としたセミナーを実施する。新卒採用の環境変化にあわせ、教育機関との情報交換会を実施する。また、社会問題となっている「危険薬物」に対する対応策研修を行うことが承認された。

■労働法実務研修会(第3回)

11月19日(水)、「メンタルヘルス問題実務対応の留意点」をテーマに、32名が出席して富山商工会議所ビルで開催した。

講師の第一共同法律事務所の伊藤昌毅弁護士は、メンタルヘルスの問題を抱える従業員が増加する中で、病気が表面化しないケースや休職にならない形で欠勤を断続



的に繰り返すケースなど様々な事態への対応が必要になっていると。したうえで、私傷病休職の取り扱いや、復職の可否を判断する際の注意点、リハビリ勤務をめぐる問題について解説した。さらに、業務上の心理的負荷に起因する精神障害による労災認定について、使用者が留意すべきポイントなどについて、事例紹介を交えながら解説した。

教育委員会

■定例委員会

11月14日(金)、第3回定例委員会を松原副委員長、品川副委員長はじめ16名が出席して、富山経協・研修室Aで開催した。

松原副委員長による挨拶に続き、2014年度教育委員会活動について、木下委員より研究部会活動報告が、事務局より研修実施状況報告が行われ、今年度の活動状況を踏まえて来年度活動方針の検討が行われた。

12月8日(月)、第4回定例委員会を金岡委員長はじめ12名が出席



して、富山経協・研修室Aで開催した。

金岡委員長の挨拶に続いて、研究部会活動の報告と2015年度活動計画の審議が行われ、来年度も引き続き「新入社員・若手社員の育成」をテーマに研究活動を行うことや、非製造業向けの新規研修の企画を進めることなどが決定された。

■第1回係長・主任実践コース

10月7日・8日(火・水)、55名が参加して、富山県中小企業会館で開催した。

講師の佐藤充昶(たかてる)ヒューマン・クリエイト代表が、企業環境変化と係長主任の役割について講義し、活発な意見交換を通して理解を深めた。このなかで、①目標を達成するためには、資源を効果的・効率的に活用する、②顧客満足やサービス向上、品質管理



を徹底することで顧客がついてくる、③問題・課題解決や改善活動が活発に行われる風土づくりが重要、④人の扱い方については、外部要因や個人の価値観・資質・性格・過去の経験などの要因が複雑に絡みあうので、個別対応が必要、⑤部下指導・コーチングの際には、部下自身の考える力を養うことが必要とした。

(「参加者NOTES」11頁掲載)

交えて解説し、グループディスカッションでは活発な議論が行われた。特に部下の育成については、目標管理や人事考課の目的と仕組みを確認するとともに、VTRのケースを用いて部下指導のあり方や部下とのコミュニケーションを検討した。また、懇親会を行い管理者間の異業種交流を活発に行った。（「参加者NOTES」13頁掲載）

■経理・財務の基礎セミナー

11月26日(水)、33名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

講師の渡邊智博YKKビジネスサポート(株)経営管理グループ長は、企業会計の一般原則や経理規定の



目的と内容、経理と財務の役割など、経理の基礎について確認した上で、利益や経費の管理という財務会計と、原価計算や原価管理といった管理会計の基本的な考え方についてメーカーのビジネスサイクルにおける具体的な例を交えて解説した。原価計算や予算の組み立てについては、実際の経理業務を想定したケースを用いた演習を通じて理解を深めたほか、内部振替価格の設定など事業部制における会計処理についても紹介し、これからの時代に経理部門が果たすべき役割についても検討した。

■「5S+目で見る管理」活動実践セミナー

12月2日(火)、39名が参加して、富山商工会議所ビルで開催した。

講師の中井芳美(一社)中部産業連盟上席主任コンサルタントは、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)は、ただ単に職場をきれいにするということではなく、よい品



質を作り出し、ムダをなくす職場の基本であり、品質・納期・コスト・安全・環境・士気のすべてに効果が期待できるとした上で、目で見る管理とは「現場の状態が正常か異常か目で見てすぐ分かり、必要な手がすぐに打てる状態にすること」であるとした。現場での実践事例の紹介やグループ演習での意見交換を通じて、参加者は管理の進め方について理解を深めた。



参加者NOTES

教育委員会

「管理職基礎コース」を受講して

(一財)北陸予防医学協会
業務涉外課 マネジャー 清水 和紀



今回、1泊2日で課長クラスの管理者を対象とした研修「管理職基礎コース」を受講しました。正直、研修と聞いた時は、ただテキストをこなして眠気を我慢するだけのマイナスなイメージでした。しかし、実際受講した研修は、夢中で話を聞き込む有意義な時間になるものでした。

研修は、中間先生が「管理者の3大役割(業績向上・部下育成・組織力強化)の基本と実践を学

ぶ」を中心に話を進め、時折グループディスカッションを交えた内容でした。先生は、過去の研修、色々な仲間、参考になる本、自分の転職、過去の上司や他の企業の面白い事例などを交え、分かり易く話をされました。教えていただいた他の企業の言葉で、「できないとけっしていわない!むかしのことはいわない!たにんのはいわない!あわてず、あせらず、あきらめず!」には、とても感銘

を受けました。

その上で、考え方、行動を学び、またグループディスカッションでは、自分と違う考え方、目の付け所に触れ、とても参考になりました。そして、研修が1泊ということで、他の事業所の参加者の方々とお酒を交えながらのコミュニケーションをとる時間があり、違った業種の事例や実情など色々な話を聞き、有益なひと時を過ごせました。

今回の研修は、今までの仕事のやり方を見つめ直し、これからの新たな仕事との接し方を考える、とても良い機会でした。少しずつかもしれませんが、学んだことを仕事に取り入れ、色々チャレンジしていきたいと思えます。

基本的な考え方とコストダウンのポイントを紹介した。コストダウン実践活動について、①購入・外注価格低減による材料費ダウン、②歩留管理・不良低減による材料費ダウン、③工数・設備効率向上



による労務費ダウン、④ばらつき低減による製造経費ダウンの4つの切り口から具体的事例を用いて解説するとともに、演習問題や参加者間での意見交換を通して、コスト改善の進め方について理解を深めた。

■管理職基礎コース

11月7日～8日(金～土)、31名が参加して、インテック大山研修センターにて1泊2日で開催した。

講師の中間弘和(公財)日本生産性本部主席経営コンサルタントが、



①管理者の役割と要件、②業績向上のマネジメント、③部下育成のマネジメント、④組織力強化のマネジメント、⑤変革と推進のリーダーシップについて、企業の現場での具体的事例や自身の体験談を



参加者NOTES

教育委員会

「若手社員活性化コース」を受講して

医療法人社団 藤聖会
八尾総合病院 事務部 清水 功大



冒頭からお恥ずかしい話ではありますが、現在の職場に入社してから4年が経過し、入社時に思い描いていた「3年後の自分」と今の自分は程遠く、思い描いていた3年後の自分も薄れてしまいました。日々の業務に取り組む一方、職場で改善していきたいと思う事案に対し、具体的にどのように行動し、どう改善していけば良いのか、自分だけの力では無理なのか、と思いつめていた時期でもありました。そんなときに石川歩先生の講義のお話をいただき、迷わず受講を決意しました。

今回の研修は体験型ということで、ただ講義を聴くだけでなく、グループワークや演習等があるだろうと予想しておりましたが、その通りでした。しかし、その「体験型」という方法がとても重要で、石川先生は講義の中で「人は命令されると仕方なく行動するが、人

の行動が本当に変わるのは、自ら気づいた時だ」と話しておられました。その気づきを引き出すため、研修では実際にゲームや演習などを体験し、自ら得た経験や知識・情報を振り返り、うまくいった事、失敗した事などから気づきを引き出すという経験を学びに変えるといった方法でした。

この体験型の研修から、自ら振り返り、自ら分析することの重要性を学びました。日常で得た経験を振り返り、なぜうまくいったのか?なぜ失敗したのか?と分析し、気づきを得ることで、改善方法や改善案を具体的に見出すことができ、革新に繋がられる。またそれらを自ら気付くことで、行動を起こす必要性も明確になり、取組に対するモチベーションが向上することも体験を通じて実感しました。

私自身を振り返ってみると、普段から業務中や業務終了時に業務

内容を振り返り内省するといった日課は無く、知識と経験を重ねていただけでした。これから更に自分を成長させるためにも、普段から業務や日常生活でも振り返りを意識し、気づき、分析から革新に繋げていけるよう取り組んでいきたいと思っています。

研修ではその他に、職場・業務を変えていくスタートの心得として、「他人と過去」は変えられないが「自分と未来」は変えられる、という意識を持ち、直接変えられないものを変えようとやっきになるのではなく、まず確実に変えられるものに焦点を当てるといったお話や、相手を「承認」することで相手を動機づけ、前向きなエネルギーを広げ、組織全体の意欲を高めるといったお話もしておられ、自分と相手との関わり方や意識の持ち方についても学ぶことができました。

1日の研修を通して、今の自分を振り返り、置かれている現状に自ら気付けたことで、これからの自分の行動を変えていかなければいけないと気づきました。業務の革新と自分の革新に繋がられるよう努めていきたいと思っています。

理手法を駆使して問題解決に取り組み、その内容を研究論文にまとめて提出することが修了基準の一つとしている。

最終日の5日には、先に開催された論文審査会で講師より推薦を受けた優秀論文3件の発表の後、受講者28名が修了証を手にした。また、講座全体を通して総合評価上位の3名が優秀賞を受けた。

〈優秀論文〉

江尻圭蔵さん(アイシン軽金属)

斉藤 翔さん(コーセル)

木原磨奈美さん(中越合金鋳工)



〈優秀賞〉

石川佳樹さん(コーセル)

平松正伸さん(コーセル)

高松直正さん(アイシン軽金属)

〈講師派遣等のご協力企業〉

アイシン軽金属(株)、コーセル(株)、
(株)タカギセイコー、中越合金鋳工(株)、
富山化学工業(株)

■ヒューマンエラー対策講座

〈応用編〉

10月10日(金)、43名が参加して富山県農業総合研修所において開催した。

近年、技術面におけるプロセスの改善が進むにつれて、ヒューマンエラーによる品質トラブルや事故の発生が大きな問題となっており、9月10日・11日に開催した「ヒューマンエラー対策講座〈実践編〉」のフォローアップとして企画したセミナーである。「未然防止の考え方と方法論」を中心に、

ヒューマンエラーの特性、エラープルーフ化の原理、エラー未然防止のためのチーム活動、エラー未然防止活動の組織的推進について、中央大学工学部経営システム工学科教授の中條武志氏より指導をいただいた。



受講後のアンケートでは、エラープルーフ化の3ステップ(1.改善の機会を見つける、2.対策案を生成する、3.対策案を評価・選定する)を活用して、実践したいとの声が多く聞かれた。

(「参加者NOTES」15頁掲載)



参加者NOTES

品質管理委員会

「ヒューマンエラー対策講座〈応用編〉」 を受講して

北陸電力株式会社
富山火力発電所 発電環境課 運営 田村 文宏



〈受講のきっかけ〉

私は火力発電所の運転に関する運用管理や発電所全般の連絡調整の業務に携わっています。ヒューマンエラー低減の取組は部門および職場の重要な課題であり、当講座で実用的な手法を学び、何とかヒューマンエラーを減らすことができなかと期待を抱いて受講しました。

〈受講の内容について〉

ヒューマンエラーの特性の説明では、人の意図しない行動の「うっかりミス」がかなりの割合を占

めているため、教育・訓練・意識づけでは完全に防げないことを知り、自分の認識の甘さを痛感しました。そして、ヒューマンエラーの発生は「うっかりミス」とエラーに導くまづい作業方法とが重なって起きており、対策には作業方法を人間に合ったものに改善する「エラープルーフ化」が重要であることを学びました。

職場ではヒューマンエラーが起きてから対策を行うことが多いのですが、今回演習で学んだ作業FMEAは、業務の流れを細かく書

き出し、その作業に対してエラーをリストアップし、「エラープルーフ化」を実施するもので、表面化したエラーだけでなく隠れたエラーにも起きる前に対策が取れる素晴らしい手法で、業務に活用できればヒューマンエラーの撲滅に確実に近づけると感じました。

〈仕事への反映〉

ヒューマンエラーの低減には、従来の訓練・意識づけの教育を行ったうえで、人間の特性に合わせた改善である「エラープルーフ化」の対策が不可欠であるため、「エラープルーフ化」の考え方が浸透するよう発電所員へ教育を実施し、ヒューマンエラーの低減に繋げ、発電所の安定・安全運転に貢献していきたいと思っております。

品質管理委員会

■県外企業見学研修会

10月20～21日(月～火)の2日間の日程で15名が参加して県外企業見学研修会を開催した。



初日は、製麺機の製造販売で創業したオークマ(株)を訪問した。今や機電融合の総合工作機械メーカー。熟練の技と自動化が織りなす未来工場DS1(ドリームサイトワン)を見せていただいた。

2日目は、オートマチックトランスミッション(AT)の専門メーカーとして世界シェアNo.1のアイシン・エイ・ダブリュ(株)を訪問した。設立時より「品質至上」を経営理念とし、徹底した全社的品質管理活動を続け、開発から生産に至るまで品質保証体制を築き上げている。工場見学では、間違った部品を取らせないような工夫がしてあり、社員の方のすれ違いざまの挨拶、ゴミなし等、しっかりした良い印象を受けた。

参加者は2日間の行程を通して、品質管理先進企業を実際に目で見て体感することができた。また、参加者間での情報交換も活発に行われた。

(「参加者NOTES」14頁掲載)

■品質管理セミナー

実践しながら学ぶ

統計的手法活用講座

5月30日から富山経協・研修室において開講した「第58回実践しながら学ぶ統計的手法活用講座」は、12月5日(金)に14日間の全日程を終えて閉講した。

この講座は、企業の体質改善を進めるために重要な役割を担うスタッフ・技術者を対象に、問題解決に必要な統計的品質管理(SQC)の手法を学び、自職場での問題の解決を図るべく、その実践的な活用方法を習得することをねらいとしている。上司とキャッチボールのうえ職場の身近な問題をテーマに選定し、グループ別にカウンセリングを受けながら、品質管

参加者NOTES

品質管理委員会

「県外企業見学研修会」に参加して

日本ゼオン株式会社 高岡工場
統括管理課 情報システムグループ 池村 祥一



私は工場の情報システム部門に所属しています。IT技術を活用していかにか工場の生産活動を支援出来るかを課題としています。今回参加にあたり、各社の品質管理や製造現場において「IT技術をどのように取り入れておられるか」という視点を持ち、今後の考え方や行動の視野を広げることを目的とし参加しました。

「オークマ株式会社」様はNC工作機械を製造されておられる会社です。製造現場にはタッチパネル式の大型モニタが設置してあり、製造ラインの状態や進捗、関連データ等が見える化してありました。製造現場の担当者が、必要な情報

を短時間で見る事が出来る工夫が考えられているものでした。製造現場、情報システム部門が、一緒に知恵を出して生み出した仕組みであると窺えました。現場を知り、何が必要か、その手段は、IT技術者として今後の行動に繋げられる視点が持てました。

「アイシン・エイ・ダブリュ株式会社」様は自動車に搭載するATやカーナビを製造されておられる会社です。現場の改善活動に力を入れておられ、ものづくりの原点は「からくり」と「無動力思考」という発想から生みだされた改善はどれもすばらしいものであり感銘を受けました。

大型部品のピッキング指示用の電子掲示板には色で判断出来るような工夫や、ランプで指示する等、製造過程から高品質を確保する仕組みが多数取り入れられていました。また、不良品さらし台や改善活動は紙で管理する等、アナログをうまく使い従業員の品質意識向上の工夫が感じられ、モノと人への効果を出す工夫は勉強になりました。

今回の見学会に参加させていただき、今まで経験がなかった品質管理の取り組みに触れることが出来ました。また各社様とも品質管理部門や製造現場とシステム部門が一緒になって考えられた工夫が拝見出来、現場目線の視野を広げる貴重な経験となりました。今後はさらに視野を広げ、工場のありたい姿を考え、それを実現するための行動に移していきたいと思っております。

環境委員会

■定例委員会

10月28日(火)、三鍋委員長はじめ18名が出席して三協立山(株)射水工場にて開催した。



第I部の定例委員会では、2014年度今後の活動予定として、「環境保全活動」「県外企業見学会」「12月度定例委員会」について審議した。第II部は情報交換会の一環として、三協立山(株)射水工場を

見学した。会社の沿革、事業内容、環境への取組み等の説明があり、その後、工場を見学し、活発に意見交換を行った。

■第4回環境保全活動

11月2日(日)、三協立山(株)「ツインリーフの森づくり」活動に、会員企業の環境部門を中心に15名が参加した。

三協立山(株)の従業員とその家族ら総勢120名が、とやま・ふくおか家族旅行村(高岡市福岡町)の山林に、コナラなどの苗木500本を植樹した。苗木をいたわりながら植えて、落ち葉をかけてしっかりと根本を踏み固め、「小さな苗が元気に育つように」と思いを込



めながらの作業で、参加者全員達成感を得ることができた。作業後には、全員で植樹作業を振り返りながらバーベキューを行い、親睦を図った。

■県外企業見学研修会

11月25日(火)、福井県越前市に赴き、17名が参加して県外企業見学研修会を開催した。

今回は、アイシングループ主要



参加者NOTES

環境委員会

「県外企業見学研修会」に参加して良かった

富山小林製薬株式会社
生産技術グループ 和田 正光



今回の研修会は、自動車用自動変速機(A/T)の心臓部であるトルクコンバーターを主力製品として、福井県の代表的な企業であり、ふくいブランド大使の委託を受けている越前市のアイシングループ、アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)様(AW-I)でした。

バスで2時間。ちょっと参加に躊躇しましたが、アイシン軽金属(株)の友人から「アイシンのグループ企業見てください」と自信满满的な発言に、重い腰を上げました。

AW-I様では、アイシン連結環境取り組みプランにおいて2010年代に産業界のトップランナーを目標として活動中であり、「生産効率を上げればCO2削減に

つながる」。そのための創意工夫提案が年29,827件、現場のモチベーションを上げるため、現場にて社長への改善説明が毎週行われ、工場のいたるところには掲示物・各指標があり、活発な活動が感じられました。

環境取り組みについてのメモ

- 〈製品品質に直結する〉
- ・洗浄水の常温化・省エネ作動油変更
- 〈エリアを分けた〉
- ・照明のLED化
- 〈エネルギーカット+発生熱利用〉
- ・ルーツプロロー
- 〈製品を通してのエネルギー削減〉
- ・伝達効率の向上
- ・小型軽量化
- 〈公害防止〉
- ・排水配管の埋設から地上化を図

ることによる土壌汚染防止

- ・地震対策
- 〈産業廃棄物削減〉
- ・廃棄物として扱っていた浮上油を脱水しての燃料化
- 〈AW-Iエコの森における植樹活動(2009年~年2回)〉
- ダム土砂埋立地であるため木が育ちにくい土壌であり、野生動物が樹木を食べてしまうので、根気強く植樹を行っている
- 環境とは異なりますが、生産支援センターにて実機で体験する安全道場、技能道場、失敗から学ぶ品質伝承コーナーも大変参考になりました。
- 安全において「指差し呼称をしないと恥ずかしいと思うレベルに引き上げる」が印象的でした。
- 今回の研修会を通して、創意工夫による生産性の向上・品質の向上がCO2削減、廃棄削減に直結していると再認識しました。参加前の「躊躇」が、「また参加したい」に変わりました。

■ISO9001内部監査員養成講座

11月6・7日(木・金)、38名が参加して富山県市町村会館で開催した。



国際規格であるISO9001は品質マネジメントシステムに関する要求事項を規定するものである。県内においても認証取得企業は多く、実施が義務付けられている内部監査の要員養成も企業にとって避けて通れないところであり、2004年以降、本講座を毎年開催してきた。

講師には MIWA MSC 事務所代表の三輪昭氏を迎え、ISO9001規格のポイント、要求事項の解説、2015年度改訂概要など、受講生は慣れない言葉に苦戦しながら、内部監査員としての考え方、技能の習得に必死に取り組んでいた。

(「参加者NOTES」16頁掲載)

■ものづくり品質管理セミナー

11月26日(水)、町野委員長はじめ86名が参加してパレブラン高志会館において開催した。

元ヤマハ発動機(株)代表取締役社長・会長 戸上常司氏より「起業、事業経営、そしてモノづくり」と題し、ヤマハ発動機(株)における、事業の起業を通して感じたこと、また、これからの21世紀のものづ



くりについて講演いただいた。

(有)品質管理総合研究所代表取締役所長 細谷克也氏からは、「TQMの実践で企業競争力を高める」と題し、経営におけるTQMの役割、TQMの導入と推進、その効果的な進め方などについて講演いただいた。

お二方とも自身の失敗や成功事例などをユニークに語られ、終始和やかな雰囲気の講演会であった。

参加者NOTES

品質管理委員会

「ISO9001内部監査員養成講座」を受講して

株式会社クロタニコーポレーション
経営企画部長 出口 智明

アイティオ株式会社
品質管理課 長 智里



今回の講座参加は、昨年ISO9001認証を取ったばかりの子会社において近々内部監査を行わねばならないという必要に迫られた私への総務担当役員からのアドバイスによるものでした。参加前には、認証取得時に繰り返し読んだ規格を再確認し、監査の心得を聞く程度としか期待しておりませんでした。初日の講義を聴き、設問の回答を考えるに当たり、ISO規格文の読みこなしの難しさを痛感し、2日という短い講習期間で理解できるだろうかと大きな不安を感じました。それでも、グループ仲間とのディスカッション、講師が用意したユニークなケーススタディを通じて、2日目終了時には、なんとか目前にある内部監査に向かえる心持ちになりました。

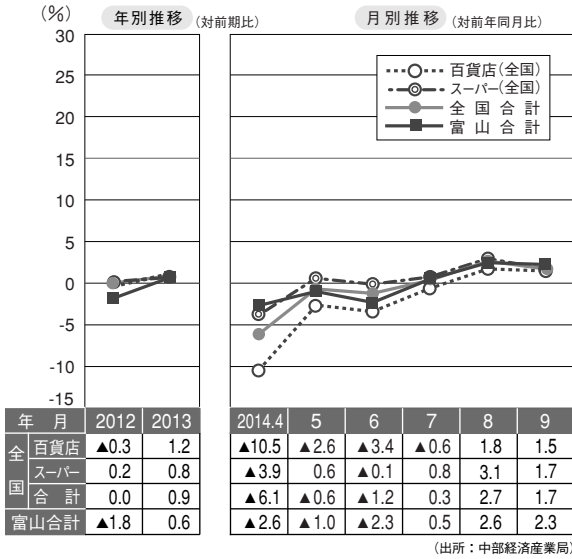
「読書百篇意自から通ず」とはいうものの、ISO規格はそれほど易しく丁寧な相手ではありません。良い先生に出会えたお蔭で、短時間で相応の理解を得られたことは幸いでした。三輪先生、大変ありがとうございました。今後は実践を通じて理解を深めて参りますので、引き続きご指導ください。

私は業務の中で、社内の内部監査に関連する資料や、ISO9001定期維持審査や更新審査に関連する資料に触れる機会があるため、内部監査やISO9001について自分ではある程度理解できているものと思っておりましたが、当講座を受講して、まだまだ勉強不足であることが実感させられました。社内の品質マニュアルを何度か読み、規格・標準類の作成・登録管理・改訂などにも携わっていますが、改善すべき箇所が、品質マネジメントシステム要求事項のどの項目に該当するか意識的に考えたことがなく、当講座の演習でも苦労した点でした。

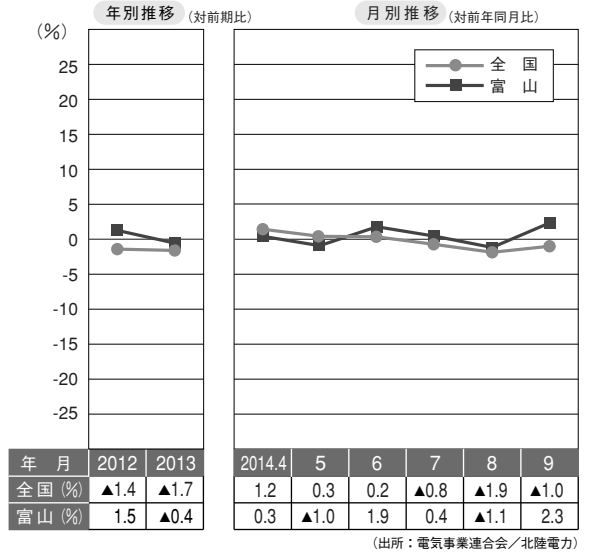
社内の品質マニュアルの理解の前に、品質マネジメントシステムの読み込みと、日頃の業務の中で要求事項を意識しなければ、ISO9001を理解することは難しいと感じました。また、内部監査のポイントについて、「いつ、どんな準備をし、どのような監査を行うか」を学んだことは、これから内部監査を受けたり、監査する立場になった時に生かすことができればよいと感じました。

景況指標

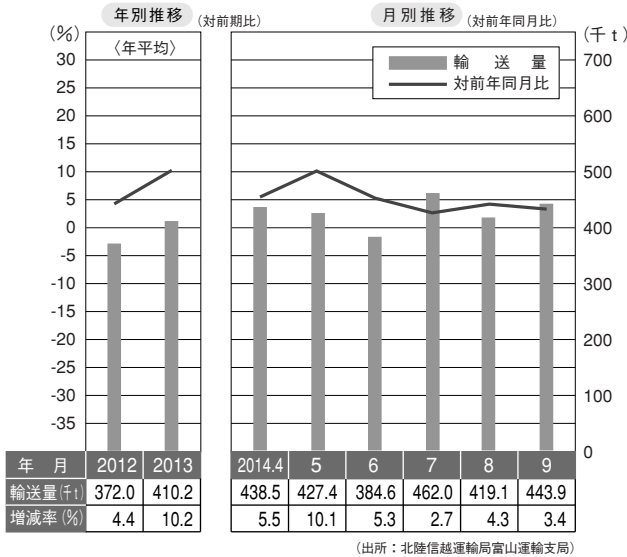
■百貨店・主要スーパーの売上高



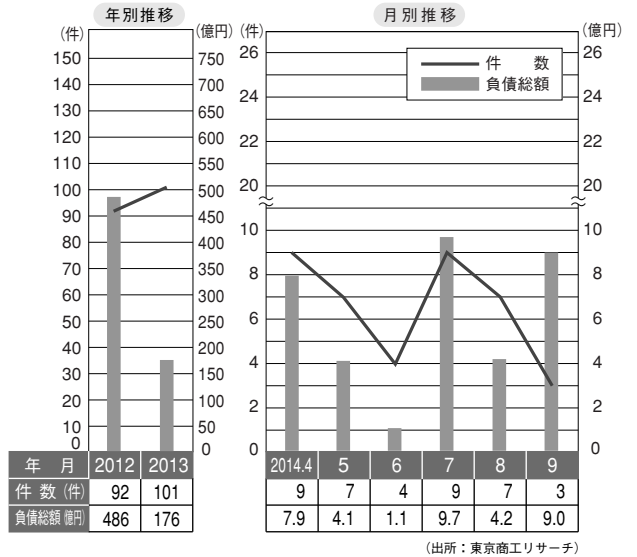
■大口電力消費量 (製造業計)



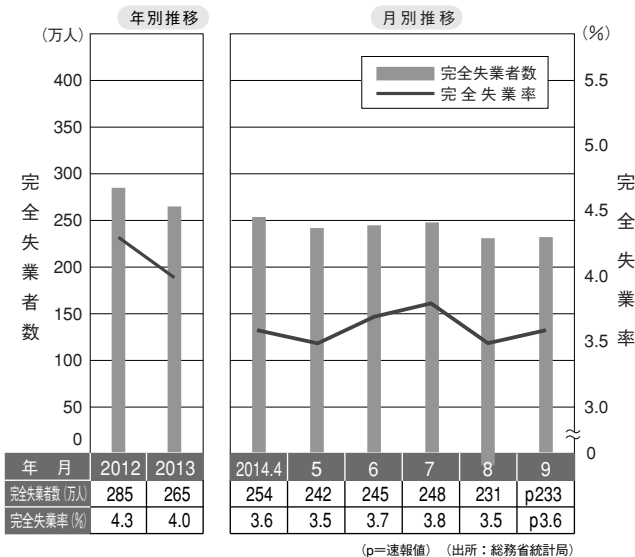
■一般貨物自動車輸送量 (富山県内)



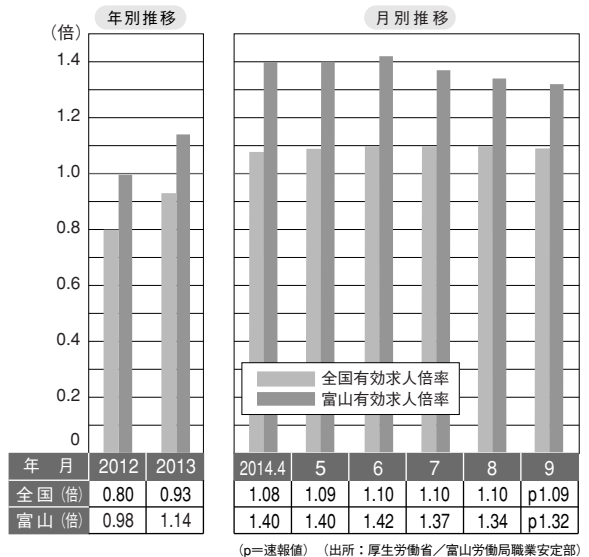
■企業倒産 (富山県内) (件数と負債総額)



■完全失業者数及び完全失業率 (季節調整値)



■有効求人倍率 (パートを含む季節調整値)



12社の一員として、「アイシン連結環境取組みプラン」以上の高い環境目標を設定し、“環境に優しい企業”を目指して、目標達成に向け日々活動を展開中のアイシン・エイ・ダブリュ工業(株)を訪問した。

日頃から環境経営に携わっている参加者にとり、環境先端企業の取り組みを直接視察することによって有意義な1日となった。

(「参加者NOTES」17頁掲載)



経営企画委員会

■2014年度第3回委員会

12月4日(木)、守山委員長はじめ委員7名が出席して富山経協・会議室において開催し、2014年度事業の実績と2015年度の事業案について審議を行った。

守山委員長より、本日は2014年度の事業実績の評価を行い、それを受けて2015年度事業案の審議をいただきたいとの挨拶があった。引き続き、事務局より①2014年度の事業実績と今後の予定、②2015年度事業案として、新しく「人口減少への企業の取り組み」に関する勉強会の開催、経営者・幹部層を対象とした経営フォーラムの企画等を実施することなどを説明後、



審議を行った。2014年度事業にて成果が上がった「現場指導」は2015年度も水平展開する、2015年度事業案は事務局案で具体的な検討に入ることを決めた。

次回委員会は2015年4月9日に開催する。

人材の確保・従業員の再就職をお手伝い!

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

そんなとき、まっ先にご相談ください。



公益財団法人

since 1987

出向・移籍(転籍)の専門機関

産業雇用安定センター

〒930-0857 富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま10F TEL 076-442-6900

ご利用時間/9:00~17:00(土・日・祝日は休み) FAX 076-439-2860

インターネットで最新の人材情報をどうぞ <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

事業予定

2014年12月16日～2015年2月28日

詳しくはホームページ (<http://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・セミナー案内」をご覧ください。

	開催日	時間	事業名	委員会名	場所	備考
会議	12月18日(木)	15:30～17:30	環境委員会「定例委員会」	環境	富山経協・研修室A	
	1月5日(月)	16:00～17:30	新春互礼会		ANAクラウンプラザホテル富山	3頁「おしらせ」参照
	2月26日(木)	16:30～18:30	労働法関連法制研究部会	人事・労務政策	富山経協・研修室A	
見学会・講演会	2月6日(金)	13:00～17:00	企業理念見学会	経営企画	阪神化成工業株式会社	
講座・セミナー	1月15日(木) 2月20～21日(金～土)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修	教育	富山県農業総合研修所	
	1月22・29日(木) 2月5・19日(木)	9:00～17:00	品質管理入門講座	品質管理	富山経協・研修室A	
	1月29日(木)	13:30～15:30	2015年労使交渉セミナー	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	
	2月17・18日(火・水)	9:30～16:30	第2回係長・主任実践コース	教育	富山県市町村会館	
	2月26日(木)	13:30～16:00	第4回労働法実務講座	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	



表紙の花 サンシュユ

サンシュユの実

(富山県中央植物園 中田政司)

花も実も観賞できる庭木

師走に入った植物園ではいろいろな木の実が目立つようになります。赤い果実は鳥たちの大好物で、雪が降った後にはヒヨドリが大群でおとずれ、1日で食べつくしてしまうこともあります。

サンシュユはヤマボウシやハナミズキと同じミズキ科の植物で、漢字「山茱萸」の読みが名前になっています。中国原産の薬用植物として江戸時代に渡来したのですが、今では観賞用の庭木として広く栽培されています。

葉が出る前の早春に枝一面の黄色い花をつけることから「ハルコガネバナ」と呼ばれ、葉が落ちた後の晩秋には赤い実が目立つことから「アキサンゴ」とも呼ばれます。園芸的には実のつきのよい選抜品種や、よく似たセイヨウサンシュユの斑入りなども流通しています。

果実は薬用酒に

果実は直径1cmほどで、見た目にはみずみずしく、つまんで口にしたいくなりますが、渋味や酸味が強く、生食には向きません。中の核を取り出して乾燥させた果肉(正確には偽果)は日本薬局方の生薬「山茱萸(さんしゅゆ)」と呼ばれ、滋養強壮などの薬効があり、八味地黄丸などの漢方処方に使用されています。

家庭では果実酒によく利用されます。そのままではなく、洗って乾燥させて中の核を取り出し、果肉200gに同量の氷砂糖を、1.8ℓのホワイトリカーに3カ月ほど漬け込み、漉して飲みます。盃一杯ほどが適量で、疲労回復や冷え症、低血圧などに効用があるといわれています。



サンシュユの花

「富山経協」vol.815

2014年(平成26年)12月号
2014年12月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)
TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952
ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>
Eメール info@toyama-keikyo.jp